

## 歴博暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会 暮らしの植物苑東屋 13:30~

第118回 1月24日(土)『武蔵野の平地林の保全』 犬井 正 (独協大学)

第119回 2月28日(土)『ブナの林と木地屋の世界』 中川重年 (本館客員教授)

今週のみどころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

# 「冬の華・サザンカ」展開催中

12月2日(火)~2009年2月1日(日)

## 肥後サザンカ

肥後山茶花は山崎貞嗣氏により、明治12年(1879年)に作出された、「大錦」に始まります。大正初年に三好学博士が「大錦」を見られ激賞されたことがきっかけになり、肥後山茶花の名称がうまれました。

晩香会によって多くの品種が作出されました。一重咲の梅芯で、他地域に比べ大輪です、花色は白、紅、絞り、開花からしおれるまでに花色の変化が楽しめます。約40品種があり、たとえば

絞り：大錦、大空、明行空、光源氏、曙、舞扇、稚子桜

白：若の浦、雪山、明星、未染、不二の雪

赤：桃園、桃源境、桜衣、桜月夜、紅桜、色も香も、奈良の都、敷島、艶姿、残り香、夕陽、紅牡丹、肥後入日の海、緋の司、緋音紅



大空



色も香も



雪山



桜月夜

## 日本の野生ツバキ

ヤブツバキ：青森県から沖縄までの各地に自生し、南部は密度が高く、海岸から内陸部の山地にまで分布し、北部は太平洋側、日本海側とも海岸の暖地に局部的にしか見られません。青森県の椿山で自然分布はおわります。紅色の一重咲の花が12月から2月、3月にかけて咲きます。栽培されている園芸品種の大部分はヤブツバキです。

ユキツバキ：日本の固有種で花色は紅、南は滋賀県椿坂峠付近から、福井、石川県山地を経て秋田県の田沢湖付近が北限になっています。日本海側、山地多雪地帯に自生する積雪順応型のツバキで、多様な栽培品種があります。

サザンカ：四国、九州から西表島などに分布し、野生は白ですが、江戸時代にはすでに紅から桃まで様々なものがあり、多彩な園芸品種があります。

ヒメサザンカ：沖縄に分布します。小さい花をたくさんつけます。芳香があります。



“ナバホ”  
アメリカインディアンの種族  
ナバホ族からきた名前です

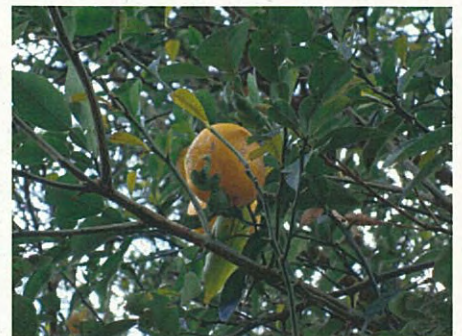


ユリノキ  
果実が見えます



飛竜  
星飛竜の枝変り

ユズ



ユールタイド  
飛竜の実生から生まれた  
アメリカ生まれのハルサザンカ



ニシキギ  
紅葉がきれいです